

桃青

岡 歩・腰越 祐貴 二人展

February 6-28, 2026



TWO-PERSON EXHIBITION



岡 歩・腰越 祐貴 二人展

会期:2025 年 2 月 6 日(金)～ 2026 年 2 月 28 日(土)

桃青京都ギャラリー

〒604-0924 京都市中京区一之舟入町 375 SSSビル 1 階

開廊時間:11:00-18:00 定休日:日・月

※最終日 16:00 閉廊

プレスリリース

このたび桃青京都ギャラリーでは、陶芸家・岡歩と腰越祐貴による二人展を開催いたします。日常の感情やユーモアを粘土に託し、「今日も暮らしに役立たない」ものをつくり続ける岡と、曖昧になりつつある自然の記憶を陶芸という手法で再構築し、もうひとつの自然を形にする腰越。方向性は異なりながらも、二人は共に、“土という素材が喚起する想像力”を深く信じています。本展では、ユーモアと輝きを宿した岡の真珠の物語と、生命感を湛えた腰越の新たな自然が交差し、陶芸表現の可能性を立体的に提示します。

岡歩は、ユーモアを交えながら、ときにラブレターを書くようにして日常のあれこれを形にし、手に取った人の眉間がふっとゆるむような“顔のある作品”をつくり続けてきました。今回の展示テーマである「真珠」は、貝の中に入り込んだ異物を排除せず、むしろ自ら傷つかないように包み込み、層を重ねながら形づくるというその成り立ちに魅力を感じたことから生まれました。特に、層が偏ることで不思議な形となるバロックパールは、その“偏り”ゆえに強い輝きを放つといわれ、岡はこの現象に、創作や表現のプロセス、人が抱える個性の源泉、さらには身近にいる「真面目に変な人」たちの姿を重ね合わせています。本展では、真珠のエピソードを人物に置き換えたタイヤ付きの作品、バロックパールから着想した立体作品、そして真珠の物語を内包するさまざまな造形を発表します。幼い頃に読んだ『トンデモねずみ大活躍』で、陶芸工がつくったネズミの人形が窯から本物として現れるシーンが心に深く刻まれて以来、「いつか作品が窯から『よっ』と出てこないか」という期待を胸に制作してきた岡にとって、土が焼成によって未知の変化を見せることは、今回のテーマと強く共鳴しています。

一方の腰越祐貴は、自然の生き物と人工的な要素を組み合わせ、失われていく自然や風景の曖昧さを陶芸によって再構築する作品を制作しています。景色や記憶は時間の経過とともに積み木のように崩れ落ち、形を留められないまま曖昧になっていきますが、腰越はその儚さを土と火の力で“もうひとつの風景”として定着させます。生き物はすべて手びねりで一点一点成形され、同じ姿はひとつもなく、焼成によって現れる陶土の質感が独特の生命感を宿します。大地となる器に生き物が寄り添う構成は、まるで物語の一場面のようにあり、人間が人工の自然をつくらざるをえない時代への警告と自然への敬意を併せ持っています。腰越は陶という素材を通じて、現実とは別のもうひとつの自然を立ち上げています。

本展では、岡の“偏りから生まれる輝き”をテーマにした真珠の世界観と、腰越が創り出す“再生された自然の風景”が響き合い、土の受容力と再生という二つの力が立体的に提示されます。異なる視点を持つ二人が同じ素材から立ち上げる、もうひとつの景色ともうひとつの物語をぜひご高覧ください。

作家紹介

岡 歩



- 1986年 和歌山県生まれ
- 2005年 和歌山県立和歌山高等学校 卒業
- 2006年 常滑市立陶芸研究所 修了
陶芸教室講師の傍ら制作活動
- 2012年 初個展/伊勢現代美術館(三重)
個展/INAXライブミュージアム(愛知)
- 2013年 個展/うつわノート(埼玉)

近年の主な活動

- 2025年
- 1月 二人展/鈴木商店(北京)
- 7月 企画展/Hase(北海道)
- 9月 個展/ecru+HM(東京)
- その他、各地クラフトイベント等に参加

腰越 祐貴



- 2010年～2013年日本デザイン専門学校 入学・卒業
- 2013年～白金陶芸 補助
- 2015年～2023年3月まで 日本デザイン福祉専門学校 副手

- 2016年 陶芸財団展(埼玉県議会議長賞) 入賞
- 2017年 陶芸財団展 入選
- 2017年 新制作展 スペースデザイン部門 入選
- 2018年 新制作展 スペースデザイン部門 入選
- 2019年 陶芸財団展(埼玉県芸術文化祭実行委員会会長賞)入賞



2019年 Memorys Gallery敬 個展
2019年 新制作展 スペースデザイン部門 新作家賞
2020年 新制作協会スペースデザイン受賞作家展 参加
2021年 陶芸財団展 陶芸大賞
2021年 Memorys Gallery敬 個展
2021年 ギャラリー数寄 アニマル展Ⅶ 参加
2021年 日本橋三越本店 吉祥を呼ぶ縁起物展 参加
2021年 日本橋三越本店 2021酒器展 参加
2022年 Memorys Gallery敬 個展
2022年 日本橋三越本店 現代作家茶特集 参加
2022年 新制作展 スペースデザイン部門 入選
2022年 ギャラリー数寄 好きなかたち展Ⅳ 参加
2022年 ギャラリー数寄 ぐいのみ展 参加
2022年 ギャラリー数寄 アニマル展Ⅷ 参加
2022年 日本橋三越本店 2022酒器展 参加
2023年 Memorys Gallery敬 個展
2023年 ギャラリー数寄 好きなかたち展Ⅴ 参加
2023年 ギャラリー数寄 ぐいのみ展 参加
2023年 ギャラリー数寄 アニマル展Ⅸ参加
2023年 日本橋三越本店 2023酒器展 参加
2023年 第10回菊池ビエンナーレ展 奨励賞
2024年 日本橋三越本店本館6階美術工芸サロン 個展 腰越祐貴 - いきものと -
2024年 Memorys Gallery敬 個展
2024年 ギャラリー数寄 好きなかたち展Ⅵ 参加
2024年 ギャラリー数寄 ぐいのみ展 参加
2024年 ギャラリー数寄 アニマル展Ⅹ参加
2024年 ギャラリー数寄 干支巳(へび)展 参加
2025年 THE STUDY ROOM 仙台店 (スタディールームの暮らし展)参加
2025年 松森美術(Memorys Gallery敬) 個展
2025年 第13回 陶美展 特別賞・多治見市文化工房ギャラリーヴォイス賞

ぜひ、貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸甚に存じます。
掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡頂けると幸いです。

桃青京都ギャラリー
担当: 浅野・松井
〒604-0924 京都市中京区一之船入町 375 SSSビル 1 階
info@gallerytosei.com
Tel: 075-585-5696 Fax: 075-585-5695